

平成22年度

事業報告書

(自) 平成22年4月 1日

(至) 平成23年3月31日

社会福祉法人 佐賀市社会福祉協議会

目 次

平成22年度事業概要	1
I. 法人運営部門	
1 役員会開催状況	3
2 評議員会開催状況	3
3 監査状況	4
4 苦情の受付及び解決状況	4
II. 地域福祉活動推進部門	
1 民生委員・児童委員活動支援事業	5
2 地域福祉活動計画策定事業	5
3 ボランティアセンター事業	5
4 小地域ネットワーク活動	9
5 福祉教育・啓発活動	20
6 地域子育て支援センター事業	22
7 各種福祉団体支援事業	25
8 共同募金配分金事業	26
III. 福祉サービス利用支援部門	
1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	28
2 生活福祉資金貸付事業	29
3 福祉資金（小口）貸付事業	29
4 住民の福祉活動の推進・支援	29
5 祭壇貸付事業〈特別会計〉	31
6 福祉サービス第三者評価事業〈特別会計〉	32
7 総合相談事業	32
8 健康・生きがい促進運営事業	32
9 三瀬地域巡回バス運営事業	32
10 放課後児童クラブ事業	33
11 老人福祉センター等運営事業	33
12 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業	36
13 松梅児童館運営事業	36
14 佐賀市産業振興会館管理事業	36
15 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業	37
16 佐賀市久保田総合センター管理事業	37
IV. 在宅福祉サービス部門	
1 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業	37
2 居宅介護支援事業	37
3 訪問介護事業	38
4 通所介護事業	38
5 富士地区コミュニティバス実験運行（富士地区高齢者憩いの家事業）	40
6 生活サポート（在宅障がい者）事業	40
7 身体障がい者居宅介護支援事業	40
8 外出支援事業	41
V. その他の事業	
1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力	42
2 日本赤十字社事業の推進	43

平成22年度事業概要

昨年の100年に一度といわれる経済危機からの改善の兆しが見えない状況の中、歴史的な酷暑による高齢者などの熱中症による死亡事故、消えた高齢者問題などの事件が相次いで起こり、また平成23年3月11日に発生した太平洋三陸沖を震源とした大震災は東日本を中心に甚大な被害をもたらし、戦後最悪の自然災害となるなど多くの尊い命が犠牲となりました。

このような悲惨な事件の中、東日本大震災に対する義援金が連日寄せられ、被災地には多くのボランティアが駆け付けるなど、善意の輪が日本全国にとどまらず、全世界に広がりました。社会福祉協議会としても佐賀市と協働で義援金の受け入れ窓口を開設し、市民からの善意をしっかりと受け止め、被災地の支援を行うことができたのではないかと感じており、今後もなお一層尽力をしていきたいと思っております。

事業については、当初に計画した事業計画に沿って市全域にわたる事業を中心に執り行い、同時に地域の個性を生かした事業にも取り組むことができました。また佐賀市と協働し、来年度からの事業の方向性となる「第2期佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定することができました。

I. 法人運営部門

1. 財源の確保、資産の管理
2. 人事管理
3. 理事会・評議員会開催
4. 苦情処理などの業務

II. 地域福祉活動推進部門（8事業）

1. 民生委員・児童委員活動支援事業

- ・平成22年12月の民生委員・児童委員の一斉改選に伴い、約半数の民生委員・児童委員が新たに委嘱を受けられたので、特に新任の民生委員・児童委員が円滑に業務遂行できるよう、活動支援・協力を行った。

2. 地域福祉活動計画策定事業

- ・平成20年度に佐賀市と協働で策定した「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」は策定後の第1期を3年間としていたため、平成22年度中に市民へのアンケートを基に策定委員会での協議などにより検討を行い、今後5年間の地域福祉の推進の基本となる「第2期 佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を完成させることができた。

3. ボランティアの育成・支援

- ・平成21年度にボランティア協議会が佐賀市全域に設立されたことを受け、ボランティア活動のさらなる広がりや基盤強化を目指し、各種ボランティア育成援助事業を展開した。

4. 小地域ネットワーク活動支援事業

- ・合併により新たに佐賀市となった地域に校区社協を設立するため、校区社協の必要性について職員の勉強会等を実施し、地域の団体との話し合いの基盤づくりを図ったが、設立までには至らなかった。

5. 地域子育て支援事業

- ・昨年度から諸富支所を基幹として、市全地域に事業展開を行ってきた子育て支援事業は市民への周知が浸透するに従い、利用者も徐々に増え、広場を支える地域住民の助け合い・支えあい活動も充実したものとなってきた。

Ⅲ. 福祉サービス利用支援部門（16事業）

1. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）

- ・福祉サービス利用援助事業の利用者は着実に増加しており、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人達が、地域の中で安心して自立した生活を営むためには必要不可欠な事業となってきている。

2. 老人福祉センター等運営授業

- ・各老人センターでの講座も、受講生自らが考え立案していくなど自主性を重んじたものへと変化を見せており、今後の動向が楽しみなものとなっている。

Ⅳ. 在宅福祉サービス部門（8事業）

1. 通所介護事業

- ・特定高齢者フォローアップ事業など国の方針を踏まえ、高齢者の介護予防の一助となるべく、制度の変化にも柔軟に対応を行っていけるよう情報収集や勉強会などを通じて支援体制の充実を図ってきた。

Ⅴ. その他の事業（2事業）

1. 共同募金運動・日本赤十字社事業

- ・例年の共同募金や赤十字の活動に加え、東日本大震災に対する義援金の受付窓口として、多くの市民からの善意を共同募金会や日本赤十字社を通じて被災地へ届けることができました。そのような多くの善意に触れることができたことをうれしく感じており、今後も引き続き支援を続けていきたい。

※各項目の金額は事業費額、〔P. 〕は決算書の該当するページ数を表しています。

※共同募金の配分金充当事業については【共募配分】、歳末たすけあい配分金充当事業については【歳末配分】と表記しています。

I. 法人運営部門 (262,342,034円) [P.46~55]

1 役員会開催状況 (198,000円) [P.47]

- (1) 第1回理事会 平成22年5月27日 (出席13名 欠席3名) 1名欠員
第1号議案 佐賀市社会福祉協議会評議員の選任について
第2号議案 平成21年度佐賀市社会福祉協議会事業報告並びに一般会計・特別会計収支決算について (監査報告)
- (2) 第2回理事会 平成22年6月30日 (出席15名 欠席2名)
第1号議案 佐賀市社会福祉協議会副会長の選任について
第2号議案 佐賀市社会福祉協議会評議員の選任について
第3号議案 佐賀市社会福祉協議会会長の職務を代理する順序に関する規程の制定について
- (3) 第3回理事会 平成22年9月16日 (出席13名 欠席4名)
第1号議案 専決規程の一部改正について
第2号議案 経理規程の一部改正について
第3号議案 職員就業規則の一部改正について
第4号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
第5号議案 大和支所指定通所介護事業運営規程、指定介護予防通所介護事業運営規程(大和)の一部改正について
第6号議案 平成22年度第1回一般会計資金収支補正予算について
- (4) 第4回理事会 平成22年12月24日 (出席15名 欠席2名)
第1号議案 佐賀市社会福祉協議会評議員の選任について
第2号議案 佐賀市社会福祉協議会副会長の選任について
第3号議案 会長の職務を代理する順序に関する規程の一部改正について
第4号議案 専決規程の一部改正について
第5号議案 平成22年度第2回一般会計資金収支補正予算について
- (5) 第5回理事会 平成23年3月24日 (出席14名 欠席3名)
第1号議案 大和支所指定通所介護事業運営規程、指定介護予防通所介護事業運営規程(大和)の一部改正について
第2号議案 福祉資金貸付金(小口貸付金)不能欠損処分について
第3号議案 平成22年度第3回一般会計資金収支補正予算について
第4号議案 平成23年度佐賀市社会福祉協議会事業計画及び一般会計・特別会計収支予算について

2 評議員会開催状況 (381,000円) [P.47]

- (1) 第1回評議員会 平成22年5月27日 (出席27名 欠席8名)
第1号議案 佐賀市社会福祉協議会理事の選任について
第2号議案 平成21年度佐賀市社会福祉協議会事業報告並びに一般会計・特別会計収支決算について (監査報告)

- (2) 第2回評議員会 平成22年6月30日 (出席25名 欠席10名)
第1号議案 佐賀市社会福祉協議会理事の選任について
- (3) 第3回評議員会 平成22年6月30日 (出席1名 欠席1名)
第2回理事会結果についての文書報告
- (4) 第4回評議員会 平成22年9月16日 (出席28名 欠席7名)
第1号議案 専決規程の一部改正について
第2号議案 経理規程の一部改正について
第3号議案 職員就業規則の一部改正について
第4号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
第5号議案 大和支所指定通所介護事業運営規程、指定介護予防通所介護事業運営規程(大和)の一部改正について
第6号議案 平成22年度第1回一般会計資金収支補正予算について
- (5) 第5回評議員会 平成22年12月24日 (出席21名 欠席11名)
第1号議案 佐賀市社会福祉協議会理事の選任について
第2号議案 佐賀市社会福祉協議会監事の選任について
- (6) 第6回評議員会 平成22年12月24日 (出席26名 欠席9名)
第1号議案 平成22年度第2回一般会計資金収支補正予算について
- (7) 第7回評議員会 平成23年3月24日 (出席26名 欠席9名)
第1号議案 大和支所指定通所介護事業運営規程、指定介護予防通所介護事業運営規程(大和)の一部改正について
第2号議案 福祉資金貸付金(小口貸付金)不能欠損処分について
第3号議案 平成22年度第3回一般会計資金収支補正予算について
第4号議案 平成23年度佐賀市社会福祉協議会事業計画及び一般会計・特別会計収支予算について

3 監査状況 (36,000円) [P.47]

- (1) 第1回監査 平成22年5月11日 (出席2名 欠席0名)
平成22年5月13日 (出席1名 欠席1名)
平成22年5月14日 (出席1名 欠席1名)
平成22年5月17日 (出席2名 欠席0名)

4 苦情の受付及び解決状況

苦情解決システム管理要綱に基づき、利用者等からの苦情について適切な解決を図った。

(単位：件)

区分	相談助言	紹介伝達	あっせん	通知	継続中	意見要望	計
高齢者	1					3	4
障害者						1	1
児童							0
その他						1	1
計	1	0	0	0	0	5	6

II. 地域福祉活動推進部門

1 民生委員・児童委員活動支援事業（485,500円）〔P.46〕

住民の立場に立って相談に応じるとともに援助を行い、広く住民の福祉にかかわり地域福祉活動の推進を行っている市内の民生委員児童委員の活動支援・協力を行った。

(1) 佐賀市民生委員児童委員連絡協議会会長会

市行政部局とともに主要関連事項の説明、又は意見交換を行うため同会長会へ毎月出席した。

(2) 地区民生委員児童委員協議会

所管事項についての伝達・依頼とともに業務遂行上必要な意見交換を行うため、市行政部局とともに市内26地区の同協議会へ毎月出席した。

2 地域福祉活動計画策定事業（430,600円）〔P.59〕

「佐賀市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第二期計画策定のため、市民へのアンケートを実施するとともに、佐賀市及び地域住民・福祉団体・ボランティア団体・学識経験者等からなる委員会による協議を行い、新計画を策定した。

3 ボランティアセンター事業

ボランティア活動の基盤を強化することを重点目標に、ボランティア（個人・グループ）の育成援助並びに地域のニーズ把握に努めるとともに、情報の提供及び各種講座・行事等を開催し、市民のボランティア意識高揚と、ボランティア活動への参加を促した。

(1) 活動基盤整備事業

① ボランティアコーディネート機能の強化

市民からのボランティア活動に関する様々な相談に応じるとともに、登録ボランティアの育成、支援並びにボランティア活動の活性化とニーズの把握、調整に努めた。

② ボランティアセンター運営委員会の開催（46,000円）〔P.60〕

ボランティアセンターの適切な運営を図るため、事業内容などについて検討した。

○第1回 平成22年6月15日（火）

1. 平成21年度佐賀市社会福祉協議会ボランティアセンター事業報告及び決算について
2. 平成22年度学校ボランティア申請について
3. 平成22年度ボランティア団体活動助成について

○第2回 平成23年3月18日（金）

1. 平成22年度佐賀市社会福祉協議会ボランティアセンター事業報告について
2. 平成23年度佐賀市社会福祉協議会ボランティアセンター事業計画及び予算について

(2) 啓発推進事業

① ボランティア情報の提供

社協だより（愛・あい）に「ボランティアセンターだよりコーナー」を設け、ボランティアに関する情報提供を行った。また、各種ボランティア団体に対し、民間助成金案内を

ホームページ等で行い、その結果、以下の団体から助成を受けることができた。

- 地域いきいきさがふれあい基金 4 団体
- 大和証券福祉財団 1 団体
- 九州ろうきん「NPO 助成」 1 団体

(3) 養成研修事業

①ボランティアリーダー研修 (127,577 円) [P. 57]

佐賀市内の各ボランティア連絡協議会等の会長並びに役員が、ボランティアを核に活発に地域福祉活動を推進している取り組みについて研修を行い、校区社会福祉協議会とボランティア団体との連携づくりに役立てると共にボランティア会員の資質の向上を図った。

- 開催日 平成23年1月27日(木)～1月28日(金)
- 研修地 慈愛園(熊本市)、阿蘇市社会福祉協議会(阿蘇市)
- 参加者 16名

②ボランティアのつどい (22,740 円) [P. 60]

佐賀市ボランティア連絡協議会々員相互の交流を図るため開催した。

- 開催日 平成22年9月6日(月)
- 場 所 メートプラザ佐賀
- 参加者 162人
- 内 容 (1)団体発表
 - ①こどもフェスタ ②ふれあいチャレンジ塾
 - ③学校生活支援ボランティア ④花づくりボランティア(2)ものづくり・交流会
 - 昔遊び、かかしづくり、造花、サンタクロースづくり、布・おもちゃコーナー、交流スペース

③ボランティア体験事業の検討

夏休み期間中(7月・8月)中学生を対象に、体験学習の支援を行ってきたが、低学年でのきっかけづくりが重要な事から、平成23年度から対象を小学生へ変更し、ボランティア体験学習を実施することとした。

④初級ボランティア講座 (11,680 円) 【共募配分】 [P. 73] 大和

地域の中で身近に行えるボランティア活動や、技能を生かしたボランティア活動の紹介とともに、ボランティア活動の理念や歴史・概要等について3回に亘って学習した。

- 1回目 「ボランティア活動のすすめ」 参加者16名
平成23年1月29日(土) 10:00～11:30
講師:佐賀県社会福祉協議会 主査 野添大介氏
- 2回目 「いろいろなボランティア」～ちょっとボランティア拝見～
平成23年2月25日～3月7日
 - ・移送サービス見学 参加者1名
 - ・傾聴ボランティア見学 参加者3名
 - ・ビューティーマッサージ見学 参加者5名
- 3回目 「ボランティア体験談!」～ボランティア活動事例～
平成23年3月5日(土)

・活動事例発表

参加者 9名

高齢者ふれあいサロン “はなみずき”

移送サービスボランティア (石井純子 氏)

おはなし会やまと (松下喜代美 氏、村岡美鈴 氏)

⑤子育てサポーター養成研修

「つどいの広場 (親と子の交流の場)」を校区公民館等でも開設できるよう、子育てサポーター養成研修を実施し、サポーターの質の向上・拡充を図った。

	開講時期	講座内容	講師	場所	参加者数(人)
1	1月15日(土) 9:40-10:00	はじめに 講座の説明&社協子育て 支援事業について	佐賀市社会福祉協議 会	佐賀市産業振 興会館(諸富)	14
	1月15日(土) 10:00-12:00	「子育て支援の現状」 目的:現代社会で子育て支 援の必要性や役割 について ～ふれあい遊びを織り 込んで～	佐賀市子育て支援セ ンター 「ゆめぼけっと」所長 黒木由美 氏	佐賀市産業振 興会館(諸富)	14
2	2月5日(土) 10:00-12:00	「乳児の成長」 ～沐浴実習～ 目的:子どもの心と体の発 達と援助	内野産婦人科 助産師 内野秋子 氏	諸富町公民館 (諸富)	14
3	2月12日(土) 10:00-12:00	「離乳食」～作って学ぶ～ 目的:離乳食実習(年齢・ 段階の理解)	佐賀県栄養士会 栄養士 納富芳子 氏	諸富町保健セ ンター(諸富)	14
4	2月19日(土) 10:00-12:00	「乳幼児の救急対策」 目的:救急時の対策として の知識	日本赤十字社 佐賀県支部	佐賀市産業振 興会館(諸富)	14

⑥技能ボランティア養成講座 (135,075 円) [P. 60]

- ・絵手紙ボランティア養成講座 (各年6回) 三瀬 東与賀
 - 【三瀬支所】 ○参加者 延76名 (受講生: 18名)
 - 【東与賀支所】 ○参加者 延102名 (受講生: 24名)
- ・折り紙ボランティア養成講座 (年4回) 東与賀
 - 【東与賀支所】 ○参加者 延90名 (受講生: 31名)

⑦福祉ボランティアの人材育成 (福祉人材バンクづくりと人材派遣)

こどもフェスタを通じて「小学生ボランティア」の育成を行ったほか、地域子育て支援センターに関わる人材の育成を行った。また、佐賀市が行った「認知症サポーター養成講座」に協力し、人材育成に努めた。

(4) 災害時のボランティアへの取り組み (104,440 円) [P. 60]

災害発生時に速やかに災害ボランティアセンターを立ち上げ、被災者支援・ボランティア支援を行えるような体制づくりを図るために「災害ボランティアセンター運営支援者研修」

に1名派遣した。

○開催日 平成22年12月13日～12月15日

○会場 全社協5階会議室（東京都千代田区霞ヶ関）

(5) 団体活動の支援

①ボランティア活動保険の受付

社会福祉協議会に登録しているボランティアが安心して活動に取り組むことができるよう、ボランティア活動中の事故に備えてボランティア活動保険の受付を行った。

	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
加入団体数	59	7	12	2	0	7	9	13	109 団体
加入者数	2,085	61	295	145	0	133	123	138	2,980 人
事故件数	4	0	0	0	0	0	0	0	4 件

②ボランティア室の貸出

ボランティア団体や福祉団体等の活動を促すため、準備や会議、定例会、講座などを開催する場合に無償で貸し出した。

○利用団体 延426 団体

○利用者 延4,905 人

③ボランティア活動への助成（1,599,000 円）〔P. 60〕

福祉活動の振興を図るため、ボランティア団体等の運営に要する経費に対して助成を行った。

○交付団体 60 団体（ボランティア団体）

9 団体（ボランティア連絡〔推進〕協議会）

④学校ボランティア育成事業（920,000 円）〔P. 60〕

社会福祉への理解と関心を深め、ボランティア精神（公共に奉仕する心情、相互扶助の精神）を育むことを目的とした学校事業に対して助成を行った。

○申請校 市内全71 校中37 校（小学校25 校、中学校11 校、高校1 校）

(6) 佐賀市ボランティア連絡協議会との協働

佐賀市ボランティア連絡協議会及び加盟する団体の定例会・役員会に参加し、団体との協働事業に取り組んだ。

(7) その他の支援事業

①傾聴ボランティア活動の支援

高齢者・障がい者が地域社会から孤立しないよう、傾聴活動に取り組む“傾聴ボランティア佐賀かたらい”の活動支援（連絡・調整等）を行った。

○活動先 けやき荘、こすもす苑、桂寿苑、ヘルスケア水ヶ江、レインボー川副、なごみ荘、みどりの園、野菊の里、本庄紀水苑、シニアケア佐賀、在宅の聴覚障がい者

②干潟（シチメンソウヤード）清掃活動（2,800 円）〔P. 60〕 東与賀

自然保護・環境保護の視点から、稀少植物シチメンソウヤードの清掃活動をボランティア推進協議会、佐賀南ロータリークラブと協働して、住民参加のもと実施した。

○開催日 平成22年10月31日（日）

- 場 所 東与賀海岸
- 参加者 93人

③ 24時間テレビチャリティー募金活動等への支援

市内の福祉施設や団体、NPO法人等が行うチャリティー募金活動の支援及び福祉車輛等の寄贈申し込みの取りまとめを行った。

④ 佐賀市おもちゃ図書館「むつごろう文庫」の運営 (265,610円) [P.60]

布絵本や布遊具の製作、貸し出しを行っているボランティアグループ「むつごろう文庫の会」の協力を得て、おもちゃの貸し出し、遊び場を提供した。

- 場所 ほほえみ館軽スポーツ室
- 開館日 第1・4月曜日、第2土曜日 (年33回開館)
- 利用者 574人

⑤ ごみカレンダー一点字版の配布 (13,020円) [P.60]

パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、ごみカレンダーの点訳版を作成し、市内の視覚障がい者で希望する方(27名)に配布した。

4 小地域ネットワーク活動

(1) 校区社会福祉協議会活動の推進・支援

「自分たちの地域の福祉課題は、まず自分たち自身で取り組もう。」という住民意識のもとに、小地域福祉活動を担う基礎組織として設置されている市内19校区の校区社会福祉協議会に対し支援と協力を行い、併せて支所における地区社会福祉協議会の設立に向けて、働きかけを行った。

① 校区社会福祉協議会運営費助成 (5,700,000円) 【共募配分(一部)】 [P.57]

各校区社会福祉協議会の運営・活動を支援するために、佐賀市と協調して助成を行った。

② 校区社会福祉協議会会長会及び幹事会の開催

各校区社会福祉協議会間の連絡調整のため、会長及び幹事による会議の場を設け、情報交換を図った。

③ 校区社会福祉協議会役員研修 (391,705円) [P.57]

校区社会福祉協議会活動の充実と活性化を図るため、県内外の先進地の地区社会福祉協議会役員との交流研修等を実施し、事業の強化・促進に役立てた。

- 開催日 平成22年11月17日(水)～18日(木)
- 場 所 17日(水):合志市社会福祉協議会 福祉センターふれあい館
18日(木):熊本市社会福祉協議会 福祉センター希望荘
- 内 容 合志市社会福祉協議会の子育て支援の仕組みについて
熊本市校区社協の運営・組織・部会の仕組みについて
- 参加者 校区社協会長、役員、市社協職員 計39名

④ 支所における地区社会福祉協議会設立推進

支所における地区社会福祉協議会の設立に向けて関係団体に協力を呼びかけ、設立を推進した。

⑤ 年末・年始地域福祉交流事業 (3,231,000円) 【歳末配分】 [P.71]

各校区社会福祉協議会が自らの福祉課題に応じて行う年末・年始の事業に対し、助成を

行うことで、地域での交流を深めた。

地区名	事業内容	助成額(円)
勸興	親子しめ縄づくり 餅つき大会 ほんげんきょう もぐら打ち あん餅作り	154,000
循誘	ふれあい会食会 福祉交流フェスタ I N 循誘	214,000
日新	新春を迎えるしめ縄づくりとブタ汁の振る舞い	250,000
赤松	ひとり暮らし高齢者のふれあいの集い こどもまつり 餅つき大会としめ縄づくり	234,000
神野	ひとり暮らし高齢者交流会 ひとり暮らし高齢者へのクリスマスプレゼント配布 ひとり暮らし男性料理教室 カブト虫大運動会	207,000
西与賀	西与賀小学校しめ縄づくり事業 ひとり暮らし高齢者ふれあいの集い	148,000
嘉瀬	ふれあい異世代交流 しめ縄づくり 『バルーン係留』ふれあい体験	128,000
巨勢	巨勢校区社協グラウンドゴルフ大会 ふれあい餅つき しめ縄づくり 昔遊び教室(竹馬・竹とんぼ作り)	119,000
兵庫	ひとり暮らしふれあいの集い	130,000
高木瀬	迎春しめ縄プレゼント 三世代交流 みんなで広げよう地域の輪(和) 赤ちゃんへ愛を込めて	272,000
北川副	「冬・子ども御輿・もぐら打ち・くじ引き」まつり 「餅つき体験」小学生児童対象「しめ縄づくり」 一人暮らし高齢者へ小学生児童「友愛年賀状」	150,000
本庄	本庄町ふれあいグラウンドゴルフ大会 しめ縄づくり 餅つき大会	224,000
鍋島	中学生サンタがやってくる 地域交流餅つき大会 ふれあいロードレス	190,000
金立	一人暮らし高齢者 障がい者ふれあいの集い	110,000
久保泉	ほんげんぎょう 餅つき大会・栄の国祭	100,000
蓮池	蓮池校区「こども冬まつり」	79,000
新栄	新栄校区ボランティア合宿訓練 新栄年末福祉交流餅つき大会	182,000
若楠	餅つき大会 若楠小高齢者への年賀状 ほんげんぎょう もぐら打ち	165,000
開成	三世代グラウンドゴルフ大会 地域世代間交流 しめ縄づくり 餅つき大会	175,000
合 計		3,231,000

(2) 年末地域ふれあいまつり事業助成 (351,948 円) 【歳末配分 (一部)】 [P. 71] 大和

①校区単位の実行委員会が実施する「ふれあいまつり (小学生、PTA、学校関係者、福祉ボランティア等の発表・交流事業)」に対し助成を行った。

○春日小 PTA「春日っ子ふれあい大会」

日 時：平成 22 年 10 月 16 日 (土)

会 場：春日小学校

○川上小 PTA「川上っ子ふれあい祭り」

日 時：平成 22 年 11 月 6 日 (土)

会 場：川上小学校

○松梅小・中学校・松梅児童館合同「親子餅つき大会」

日 時：平成 22 年 12 月 5 日 (日)

会 場：松梅小学校

②川上校区高齢者ふれあい会食会 (70 歳以上の一人暮らし高齢者)

川上校区自治会、佐賀市社会福祉協議会主催で、食生活改善推進協議会の協力による会食や地元ボランティアグループによる出し物を楽しんでもらった。

参加者：高齢者 28 名 民生委員児童委員 8 名 川上自治会 7 名

ボランティア 31 名 川上校区食生活改善推進協議会 12 名

日 時：平成 23 年 1 月 22 日 (土) 11:30~14:00

会 場：川上コミュニティセンター

(3) 高齢者サロン事業 (15,615,388 円) [P. 80]

地域住民の自主的な参加と協力のもと、家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らしの高齢者等に、地域の施設 (地区公民館、集会所等) を活用し、社会的孤立感の解消及び自立生活の向上を目的に実施されるサロンに対し運営費の助成を行い、併せて各サロンの要請に応じ、サロン設立や運営の指導等を行った。

また、サロン運営をスムーズに行うよう年 4 回協力者を対象に、絵手紙・折り紙・レクリエーションの講座を行った。

○絵手紙 参加者延 79 名

○折り紙 参加者延 58 名

○レクリエーション 参加者延 40 名

地区名	サロン数	開催数	参加者数	助成額
勸 興	4	56	708	284,206
循 誘	6	70	1,364	460,000
日 新	14	141	2,594	965,000
赤 松	1	12	178	70,000
神 野	11	114	2,727	825,000
西与賀	4	74	1,742	320,000
嘉 瀬	4	54	779	310,000
巨 勢	2	22	497	150,000
兵 庫	2	21	226	120,000
高木瀬	11	188	4,996	940,000
北川副	15	185	3,127	1,090,000

本 庄	4	55	1,099	260,000
鍋 島	1	12	396	90,000
金 立	10	116	2,456	635,000
久保泉	5	54	1,310	400,000
蓮 池	10	104	2,129	750,000
新 栄	5	514	9,406	430,000
若 楠	3	35	677	230,000
開 成	7	129	1,731	530,000
諸 富	18	388	9,441	1,515,000
大 和	11	149	2,584	690,000
富 士	9	127	2,279	620,000
三 瀬	3	34	477	200,000
川 副	21	250	3,693	1,500,000
東与賀	3	33	763	230,000
久保田	4	48	710	280,000
合 計	188	2,985	58,089	13,894,206

サロン遊具貸出状況

年度	スロット ボール	ボーリング ゲーム	輪投げ	室内 ペタンク	ハンディ カラオケ
保有数	2	5	6	4	2
件数	39	13	32	6	12

(4) 在宅高齢者会食会助成事業 (1,787,165円 経費含)【共募配分】【歳末配分】[P.71]

地域ボランティアや校区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会が、高齢者の生きがいと健康づくり活動の推進及び孤立化の防止を図ることを目的に実施する会食会に対して助成金を交付した。

地区名	実施団体	開催数	参加者数	助成額
勸 興	勸興校区社協	1	126	37,800
循 誘	ボランティア循友	3	273	81,900
	循誘校区社協	1	145	43,500
日 新	ボランティアにちりん	10	928	278,400
西与賀	西与賀校区社協	2	247	74,100
嘉 瀬	せいらんボランティア	5	338	101,400
巨 勢	ボランティア巨勢	6	346	103,800
	巨勢地区民協	1	52	15,600
本 庄	本庄校区社協	1	137	41,100
高木瀬	ボランティア高木瀬	1	88	26,400
	高木瀬校区社協	1	193	57,900
北川副	ボランティア北川副	3	445	133,500
	北川副公民館運営協	1	209	62,700
鍋 島	ボランティア鍋島	3	326	82,800
金 立	金立校区社協	2	98	29,400

久保泉	いずみボランティア	2	159	38,500
蓮池	蓮池校区社協	3	174	52,200
新栄	新栄ボランティア	4	610	152,500
	新栄校区社協	1	80	24,000
若楠	ボランティア若楠	3	408	122,400
開成	開成ボランティアひまわり	6	641	192,300
合 計		60	6,023	1,752,200

(5) 愛の一声運動推進事業 (4,816,400円) [P.62]

ひとり暮らし高齢者の安否確認と生活状況の常時把握、孤独感を慰め日常生活の安全を確保することを目的に、佐賀市民生委員児童委員協議会に委託して実施した。

登録者数

(単位：人)

地区名	前期	後期	地区名	前期	後期
勸興	6	6	久保泉	11	11
循誘	49	54	蓮池	32	38
日新	25	21	新栄	13	19
赤松	11	10	若楠	9	8
神野	63	58	開成	12	8
西与賀	11	9	諸富	77	72
嘉瀬	4	3	大和	12	14
巨勢	16	12	富士	117	126
兵庫	26	28	三瀬	30	29
高木瀬	20	18	川副	83	88
北川副	34	32	東与賀	42	42
本庄	28	28	久保田	25	24
鍋島	11	11			
金立	45	42	合 計	812	811

(6) 災害時要援護者避難支援対策事業 (90,442円) [P.63]

佐賀市と協働し災害時に避難支援を要する高齢者等(災害時要援護者)に対し、迅速な安否確認、避難支援行動に取り組めるよう、地域支援団体(自治会、民生委員児童委員、校区社協など)の協力を得て、災害時要援護者の登録推進や訓練等を行った。

○情報伝達訓練 平成22年9月5日(土)

○佐賀市総合防災訓練 平成22年11月14日(日)

要援護者登録数(平成23年3月末現在)

(単位：人)

地区名	高齢者	障がい者・ 難病患者等	計	地区名	高齢者	障がい者・ 難病患者等	計
勸興	68	0	68	新栄	58	5	63
循誘	37	2	39	若楠	82	2	84
日新	70	1	71	開成	78	4	82
赤松	75	0	75	諸富	113	2	115

神野	112	3	115	春日	31	1	32
西与賀	33	1	34	春日北	20	1	21
嘉瀬	44	2	46	川上	40	4	44
巨勢	17	0	17	松梅	11	1	12
兵庫	88	1	89	富士	58	1	59
高木瀬	77	3	80	三瀬	10	0	10
北川副	107	6	113	南川副	11	0	11
本庄	118	0	118	西川副	24	1	25
鍋島	55	5	60	中川副	31	2	33
金立	59	0	59	大詫間	1	0	1
久保泉	55	0	55	東与賀	84	2	86
蓮池	29	0	29	久保田	30	0	30
				合計	1,726	50	1,776

(7) 見守りネットワーク事業

①緊急連絡カードの整備 富士 三瀬

民生児童委員の協力を得て、緊急時に備え、ひとり暮らしや高齢者のみ世帯の実態を把握するとともに、対象者に緊急連絡カード等の配布を行った。

詳細には緊急時に備え、親族や担当民生委員、自治会長、訪問連絡員等の連絡先及びかかりつけ医等を記載し、本人及び関係機関で共有した。

○対象者 111名（富士）
30名（三瀬）

②高齢者サービス調整会議（地域ケア会議）への参加 三瀬

行政、福祉施設、医療機関で構成される「調整会議」に毎月参加し、一人暮らし高齢者のみの世帯だけでなく高齢者すべての生活状況や身体状況などの情報交換を行った。

○会議構成：市保健福祉課、市保健師、診療所医師、歯科医師、看護師、介護老人福祉施設ヘルパー、通所介護職員、ケアマネージャー、社会福祉協議会

③生活困難者支援事業（257,669円）【歳末配分】[P.71]

生活に困窮している者や路上生活者が、年末年始を無事に乗り切れるよう安否確認を兼ね、炊き出し及びカップ麺等を詰め合せた「年越し福袋」の配布を行った。

○開催日 平成22年12月25日（土）
○場所 佐賀市役所 南側駐車場
○炊き出し 100食分
○年越し福袋 50袋

(8) 健康づくり促進事業（580,879円）

①健やか健康促進事業（446,355円）[P.65] 諸富

高齢者の介護予防のため、血圧測定や健康チェック、健康づくり運動等を実施することにより、健康・体力の維持を図った。

○開催地区数 25地区
○参加者 延547人

○事業内容 血圧測定、健康チェック、保健師による講話(認知症予防)、軽運動

②いきいき健康づくり講座 (15,639円) [P.65] **諸富**

佐賀市主催の「脳いきいき健康塾」と連携して、手作業を取り入れた講座を開催した。

○対象者 『脳いきいき健康塾』の受講者・サポーター 9名

○内 容 折紙、小物作り、絵手紙、手芸

○実施回数 10回

③高齢者ふれあいサロン事業 (91,385円) [P.70] **久保田**

家に閉じこもりがちな高齢者に、気軽に利用できる家庭的な雰囲気の中でサロンを実施した。

○登録者数 31名(参加者延243名)

○内 容 健康相談(血圧測定等)、食生活相談、日常相談等、文化活動(手芸等)、レクリエーション(健康体操、ゲーム、歌等)

○支援者 在宅看護職の会、県国保連合会、ボランティアグループ

○実施回数 12回

④高齢者支援講習会 (27,500円) [P.69] **東与賀**

高齢者が、習得した知識や技術を地域でのサロン事業や会合時に活用していただくことを目的に講習会を実施した。

○参加者 延42人

○内 容 脳トレーニング講習(認知症予防の手遊び等)、レクリエーション講習

○実施回数 計3回

⑤健康体操教室 **東与賀**

高齢者を対象に「NPO法人ふれあい館」と協働し、自らの体力に合った運動の紹介、体操、健康指導、栄養指導、健康管理等を行った。

○参加者 延158人

○内 容 体力測定・血圧測定・健康チェック・ボール体操 他

○実施回数 計24回

(9) 高齢者相互交流事業 (450,799円)

①佐賀市「よかところ」発見の旅 (107,424円) [P.65] **諸富**

ひとり暮らし高齢者が、史跡・名所を巡りながら参加者・協力者相互の団欒・交流を通して、リフレッシュしてもらえるよう実施した。

○開催日 平成22年10月29日、11月2日、4日、5日(計4班)

○内 容 シチメンソウ、佐野常民記念館等の見学

○参加者 68名(高齢者 計41名・引率 計27名)

②ふるさと発見 (61,699円) [P.68] **三瀬**

高齢者が市内の名所・旧跡等を訪問・活用し知識を深めまた、生きがいと健康増進を図るとともに、参加者相互のふれあいが行われるよう実施した。

○開催日 平成22年4月7日(水)、10月27日(水)

平成23年1月26日(水)

○内 容 三瀬村土師地区の大楠、佐賀県警本部交通管制センター、

佐賀県議会議場、佐賀地方検察庁等の見学

○参加者 延61名（高齢者 57名・引率 4名）

③佐賀市新発見探訪会（130,360円）【共募配分（一部）】[P.78] **東与賀**

佐賀市の新たな魅力を求めて、自然、環境、歴史、文化、名所・旧跡等を訪ね、知識や理解を深めることを目的に実施した。

○開催日 平成22年10月5日（火）

○内 容 佐賀城本丸歴史館見学・富士町ダムの駅しやくなげの里他

○参加者 43名

④地域探訪会（151,316円）【共募配分（一部）】[P.79] **久保田**

外出の機会が少ない高齢者に外出の機会を与え、相互の親睦を図るとともに、生きがいの充足、心身の健康や自立した生活への意欲の向上を図ることを目的に実施した。

○開催日 平成22年10月22日（金）

○内 容 佐野常民記念館見学

○参加者 50名

(10) 高齢者食育推進事業（182,395円）

①ふれあい食事教室（145,691円）[P.68] **三瀬**

地元で採れた野菜や三瀬の食材を使って料理教室を実施し、閉じこもりの防止や参加者同士の会話を通して生活への意欲の向上を目的に実施した。

○開催日 平成22年6月25日（金）、7月20日（火）、8月27日（金）
9月17日（金）、10月29日（金）、11月26日（金）

○参加者 延98名（登録28名）

②男の料理教室（36,704円）[P.68] **三瀬**

調理の経験がない高齢の男性等が調理の基礎を身に付け、食材の選び方や扱い方を知るなど、自立した生活の向上を目的に実施した。

○開催日 平成22年7月8日（木）、11月12日（金）
平成23年2月24日（木）

○参加者 延48名（登録25名）

(11) おたすけ事業（59,776円）[P.68] **三瀬**（～9月30日）

在宅寝たきり高齢者に対し、介護用品等を支給することにより介護者への介護情報の提供や介護負担の軽減を図り、可能な限り安心して生活していくことができるよう支援を行った。

○支給対象者 6名

○介護用品 紙おむつ

○支給数 1人30枚程度（月）

(12) ふれあいサークル事業 **三瀬**

住民の生きがいと健康づくりや閉じこもり防止を目的に実施した。

○開催日 平成22年6月17日（木）、9月9日（木）、11月4日（木）
平成23年3月3日（木）

○内 容 参加者の得意な料理作りや楽器の披露等

○参加者 延29名（登録14名）

(13) ふれあいチャレンジ塾 (448,636円)

①ふれあいチャレンジ塾 (306,122円)【共募配分(一部)】[P.74] 富士

「ものを作る喜び」「人とふれあう喜び」「地域を知る喜び」「季節を体感する喜び」を子どもと地域の大人(ボランティア支援者)が工夫や挑戦をともに楽しみながら、世代間の交流を深めることを目的に実施した。

- 参加児童 延274人
- 支援者 延227人(ボランティア連絡協議会、民生児童委員女性部、銭太鼓受講生、食生活改善推進協議会、読み語りグループひなたぼっこ、老人クラブ、体育指導員など)
- 開催数 15回

②三瀬ふれあいチャレンジ塾 (142,514円)【共募配分(一部)】[P.76] 三瀬

高齢者や他の地域の子供達との交流や遊びを通して、他人を思いやる心や共感することのできる心を育み、子供達の健やかな心身の成長を支えた。

- 参加者 延197人(児童:157人、スタッフ、ボランティア:40人)
- 支援者 佐賀県レクリエーション協会、絵手紙グループ、老人クラブ会員、民生・児童委員、母子保健推進員、食生活改善推進協議会
- 開催数 10回

(14) 一輪車育成 (96,000円) [P.67] 富士

一輪車演技を通じて児童の健全育成及びチームプレーによる連帯感や社会性を養い、また、「ふれあい祭り」への出演や施設訪問により「思いやりの心」を育て、児童のみならず、保護者に福祉施設の特性を知ってもらうために支援を行った。

- 参加児童 延1,081人
- 開催数 47回

(15) 世代間交流事業 (777,631円)

①ふれあい会食会 (439,308円)【共募配分(一部)】[P.77, P.78, P.79]

川副 東与賀 久保田

川副地区(ひとり暮らし高齢者と園児のふれあい会食会)及び久保田地区(ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯のふれあい会食会)では、外出の機会が少ない高齢者と園児、児童や育児サークル等との世代間の交流により、在宅高齢者の孤独感の解消、閉じこもり予防や地域コミュニティの向上を図った。

一方、東与賀地区(ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の会食交流会)では、世代間の交流と併せて、市保健師・栄養士による健康相談や栄養指導等を実施することで、健康で自立した生活の継続が図れるよう支援した。(単位:人)

地区名	高齢者	園児・児童	協力者	合計
西川副 (10/21)	12	27	15	54
大詫間 (10/26)	11	21	18	50
中川副 (10/29)	19	29	29	77
南川副 (11/9)	11	38	27	76
東与賀 (7/28)	31	62	30	123
久保田 (6/22)	40	—	38	78

②地域ふれあい交流事業（338,323円）【共募配分】〔P.74, P.77, P.79〕

富士 川副 久保田

富士地区では、子ども、親、高齢者、障がいをお持ちの方など、地域の中には様々な人が住んでいるということを知る機会として、一輪車や銭太鼓の発表の場、特技を持つ人の作品出展、クラフトを通じた交流の場を通じて、世代間のつながりの大切さを理解することを目的に実施した。

また川副（世代間交流事業）及び久保田地区（世代間交流事業）では、高齢者と子どもと一緒に楽しめる身近なスポーツを通してふれあい、児童の健全育成と高齢者の健康な心身の養成を図ることで、明るい地域社会づくりを目指し実施した。

（単位：人）

地区名	高齢者	児童	協力者	合計
富士（12/5）	協力者に含む	23	141	164
南川副（7/27）	35	35	10	80
西川副（8/3）	65	65	20	150
中川副（8/20）	50	50	20	120
大詫間（11/2）	40	40	16	96
久保田（8/17）	39	25	5	69
久保田（10/30）	82	18	10	110

（16）施設・地域交流事業

①ふれあい夏祭り支援（100,000円）〔P.69〕 富士 東与賀

高齢者や障がい者の施設の利用者と地域住民との交流を深めることを目的に、ボランティアや地域住民の協力のもと夏祭りを実施した。

	場所	参加者（人）
富士（7/24）	なごみ荘	約365
富士（8/7）	富士学園	約700
東与賀（8/5）	めぐみ園	約750

②障がい児クリスマス交流会（99,168円）【歳末配分】〔P.71〕 諸富 東与賀

障がい児及び保護者の自立と社会参加の促進を図ることを目的に、手をつなぐ親の会と一体となってイベントを開催することで障がい児と地域住民との交流を深めた。

障がい児サロン事業【諸富支所】

- 開催日 平成22年12月12日（日）
- 参加者 25人（障がい児9名、保護者9名、ボランティア他7名）
- 内容 ボランティアによる余興、ケーキ作り、プレゼント配布

障がい児クリスマス会【東与賀支所】

- 開催日 平成22年12月19日（日）
- 場 所 東与賀保健福祉センター
- 参加者 33人（障がい児8名、保護者10名、ボランティア他15名）
- 内 容 ケーキと小物づくり（ボンボンリース・カラフルポップツリー）レクリエーション、ゲーム、歌、紙芝居等

④障がい者施設交流事業（50,000円）【歳末配分】〔P.71〕 久保田

小規模作業所利用者及び家族と民生児童委員や地域住民との親睦と融和を図り、施設と一体となってクリスマス交流会を開催することにより、障がい者への理解を深めるとともに、地域との連携を深める。

- 開催日 平成22年12月22日（水）
- 対象者 障がい者小規模作業所（久保田サンハウス）利用者・家族
思斉館小学部・中学部特別支援学級児童生徒、民生児童委員、ボランティア、地域住民等
- 内容 利用者による合唱、児童生徒による劇、創作ダンス
クリスマスプレゼント抽選会、ケーキづくり

（17）歳末地域交流事業（912,443円）〔P.71〕

①世代間交流しめ縄づくり（234,887円）【歳末配分（一部）】 三瀬 川副 久保田

地域の高齢者と児童が、しめ縄づくりや凧づくりを通して世代間の交流を深めるとともに、子ども達に日本の慣習や風習に込められた想い・願いを伝え残すことにより、薄れゆく地域コミュニティ（地域力）の向上を図る。併せて、出来上がった「しめ縄」をひとり暮らし高齢者に届けることで、高齢者との心の交流を育む。

世代間交流しめ縄作り【三瀬支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民
- 参加数 35人

世代間交流しめ縄作り【川副支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民
- 参加数 355人

世代間交流事業【久保田支所】

- 対象者 小学生と保護者
- 参加数 34人

②世代間交流餅つき会（558,635円）【歳末配分】 諸富 富士 三瀬 川副

餅つきを通して住民相互のふれあい・交流を図るとともに、高齢者と児童、地域住民が交流を深めることを目的に実施した。

ふれあい交流会【諸富支所】

- 対象者 65歳以上のひとり暮らし高齢者
- 配布数 232件

餅つき交流訪問事業【富士支所】

- 対象者 70歳以上のひとり暮らし高齢者
- 配布数 119件

世代間交流餅つき会【三瀬支所】

- 対象者 70歳以上のひとり暮らし高齢者
- 配布数 33件

世代間交流餅つき会【川副支所】

- 対象者 小学生と高齢者、および地域住民
- 参加数 548人

③高齢者世帯会食交流会（118,921円）【歳末配分（一部）】 東与賀

外出の機会が少ない高齢者が一同に会し、ゲームや余興等の交流を図りながら、健康相談・栄養指導を実施することにより、高齢者の孤独感解消や自立生活の一助とすることを目的に実施した。

- 開催日 平成22年12月3日(金)
- 対象者 70歳以上のひとり暮らし高齢者
75歳以上の高齢者のみ世帯
- 参加者 88名（高齢者45名；協力者43名）
- 内 容 ビンゴゲーム・ハーモニカ演奏・踊り他
- 支援者 民生児童委員・ボランティアの友・保健師・栄養士

5 福祉教育・啓発活動

(1) 福祉体験学習指導者派遣事業（551,500円）[P.57]

地域・学校等で開催される福祉総合学習（車椅子介助・アイマスク体験・高齢者疑似体験等）が適切な指導により実施されるよう、経験・指導力を備えた指導者（クローバーの会）を派遣した。

種 別	延講座数 (回)	派遣校数 (校)	派遣校名
アイマスク指導	110	17	赤松小、神野小、嘉瀬小、兵庫小、高木瀬小、鍋島小、新栄小、開成小、諸富北小、諸富南小、春日小、川上小、三瀬小、附属小、城南中、金泉中、致遠館中、附属中、佐賀北高
疑似体験指導	137	19	
車椅子指導	98	16	
事前協議	34	20	
合 計	379		

(2) 実習生の受け入れ

これからの社会福祉を担う学生に社会福祉専門職に求められる姿勢、態度、援助技術を身につける実地教育の場を提供し、社会福祉の増進に繋がるよう指導・育成を行った。

種 別	人数		学校・事業所
社会福祉士	5校	6名	久留米大学、福岡医療福祉大学、山口県立大学、九州保健福祉大学、熊本学園大学
介護職員基礎研修	1事業所	80名	介護労働安定センター
体験学習	3校	46名	佐賀大学、佐賀女子短期大学、京都女子大学
インターンシップ	1校	2名	牛津高校
介護福祉士	1校	2名	西九州大学
訪問介護員（ヘルパー）	1事業所	1名	佐賀県立産業技術学院
老人センター見学実習	1校	25名	佐賀県立総合看護学院

(3) 社協だより“愛・あい”の発行、ホームページの更新

社会福祉協議会の事業を広く市民に知らせ、また理解と協力を求めるため、年4回（春・夏・秋・新春号）市内全世帯及び事業所に配布した。

また、パソコン点訳ボランティア「麦の会」の協力により、点訳版を作成し市内の視覚障がい者で希望する方に配布した。

さらに新しい情報を提供するため、定期的にホームページを更新した。

①社協だより“愛・あい”の発行(4,408,568円)【共募配分(一部)】

[P.56, P.61, P.71, 日赤]

- 1回の発行部数 100,700部(宅配)
- 1回の発行部数(点字版) 22部(郵送)

②佐賀市社協ウェブページ(ホームページ)の運営

- ホームページ開設 平成21年5月21日
- 閲覧者 延7,745人(延21人/日)
- ページビュー 延37,281件(延102件/日)

(4) 諸富支所だよりの発行 **諸富**

諸富支所が行う事業並びに地域活動を紹介し、地域との一体化を図りつつ、社会福祉協議会活動の理解や地域活動の活性化を図るため月1回、諸富地区全世帯に回覧・配布した。

(社協事業の紹介や講座等の案内、地域におけるふれあい活動の紹介等)

(5) 第6回佐賀市社会福祉大会の開催(949,673円) [P.56]

市内の福祉関係者が一堂に会し、今後の福祉活動推進の意識を高めるとともに、永年社会福祉に功労のあった者を表彰し、その功績を讃え社会福祉事業の振興発展を目的に開催した。

- 開催日 平成23年2月8日(火)
- 会場 佐賀市文化会館 中ホール
- 来場者 約850名
- 被表彰者 98名
 - ・表彰状 社会福祉団体役員：11名、民生児童委員：67名
ボランティア団体：2団体
 - ・感謝状 福祉事業等寄付者：14名・4団体

(6) あいさつ運動 **東与賀**

児童生徒の健全育成のため、全ての大人が子どもの育成に関心を持ち、かつ主体的に係わる「子どもへのまなざし“100%”のまち」の実現を目指し、各学期始め(年3回)に民生児童委員(地区民協正・副会長)の協力を得て、学校関係者とともに実施した。

- 実施場所 東与賀小・中学校校門前他

(7) はがき訪問事業(20,500円) [P.69] **東与賀**

小学生児童が、ひとり暮らし高齢者及び養護老人ホーム利用者に対し、暑中見舞や年賀はがきを送ることにより、高齢者へのいたわりの気持ちを伝えるとともに孤独感の解消を図ることを目的に実施した。

- 暑中見舞 対象者84名 配布数168通
- 年賀 対象者85名 配布数170通

6 地域子育て支援センター事業 (5,902,189円) [P.66、P.73、P.74、P.76、P.78、P.79] 【共募配分（一部）】

同年代の子どもを持つ親が親子でふれあうことのできる「ひろば型」の子育て支援センターを設置し、あわせて広場を支える地域住民の助けあい・支えあい活動の充実を図ることで、地域で子どもが健やかに育つよう支援した。

諸富支所を基幹とし、佐賀市全域に出張ひろばを配置し事業推進を図った。

(1) 子育て親子への交流の場の提供と交流の促進

① つどいの場の提供

親子が気軽に自由に利用できる場として「つどいの広場」を開設した。

	開館日数 開催日	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
諸富ふれあい広場 (佐賀市産業振興会館内)	240 火～土(10～16時)	4,017	3,408	176
ふれあいるーむ (富士支所庁舎内)	245 月～金(10～16時)	474	492	123
大和まほろば広場 (大和老人福祉センター内)	49 水(11～16時)	103	59	16
みつせスマイルキッズ広場 (三瀬保健センター内)	11 随時	20	16	1
むつごろう文庫 (保健福祉会館内)	33 第1月、第2土、第4月	226	264	84

② 子育てサロンの開催

子育てサークルによる「子育てサロン」を行うことにより、子育て親子の交流を図った。

ひろば名	サロン名	実施回数 開催日	実施内容	乳幼児数 (延人数)	保護者数 (延人数)	ボランティア数 (延人数)
ふれあい広場 (諸富)	赤ちゃん広場	12回 第2(火)	乳児対象の発育相談とわらべ唄	155	154	4
	かすたねっとサロン	12回 第4(金)	作物の育成・収穫、季節行事を取り入れたおもちゃづくりや遊び	432	373	110
	さんさんひろば	8回 第3(木)	作ってふれあい遊び	82	75	1

	にこにこ広場	23回 第2・4(水)	アンパンマン体操、ふれあい遊び	417	364	79
	広場で絵本	12回 第2(金)	絵本の読み聞かせ	82	66	24
	手作り布おもちゃで遊ぼう	12回 第1(水)	布遊具を使ったふれあい遊び	82	73	46
	あつまろっと広場	2回 (10・3月)	スタッフによるふれあい遊び	48	37	8
大和まほろば広場 (大和)	まほろばサロン	3回 (6・7・3月)	エプロンシアター、大型紙芝居 人形劇、レクリエーション等	78	79	2
ふれあいる一む (富士)	ふじっこサークル	12回 第1(水)	七夕会、温泉遊び、パソコン教室 ハロウィンづくり、クリスマス会 キャンドルづくり、おはなし会 アロマ、運動でリフレッシュ等	83	80	45
	ぐんぐん金曜日	37回 (金)		250	229	62
	わらべうたサロン	11回 第3(火)		29	31	9
よかっこ広場 (東与賀)	よかっこ広場	12回 第3(水)	ベビーマッサージ、よかよか運動会 乳幼児安全法講習会 クリスマスコンサート、育児相談	580	564	9
なかよし広場 (久保田)	なかよし広場	11回 不定期(月)	料理教室、おはなし会、親子遊び お菓子づくり、クリスマス会 布おもちゃ遊び	175	157	24
みつせスマイルキッズ 広場 (三瀬)	みつせ スマイルキッズ	11回 第1(月)	バスハイク、布おもちゃづくり ミニ運動会、リング狩り 七夕会、クリスマス会 絵本や大型紙芝居、折り紙教室	123	85	52
むつごろう文庫 (佐賀市おもちゃ図書館)		10回 第1(月)	布おもちゃで遊ぼう	72	70	20
		12回 第4(月)	童話の読み聞かせ	99	106	23

(2) 子育て等に関する相談、援助の実施（各つどいの場で実施）

子育てについて不安を抱えている親の相談に応じるとともに、定期的に専門家による「乳幼児育児・発育相談」や子育てに役立つ講座を実施することにより、子育て不安の解消を図った。

①子育てに関する相談

(単位：件)

相談内容別					形態別			合計
育児	就園	親の問題	家族関係	地域関係	来所相談	電話相談	その他	
344	26	22	26	17	347	2	86	435

②専門家による子育て相談（年6回）

○相談件数 86件

③子育て講座の開催（4回連続講座を3か所で実施）

(単位：人)

講座名	大和支所	久保田支所	諸富支所	合計
乳幼児の成長	14	19	16	49
離乳食実習	14	19	15	48
ベビーマッサージ	14	17	13	44
救急時の対策	12	18	16	46
合計	54	73	60	187

(3) 子育てサポーターや子育てサークル等の育成・支援

①子育てサポーターの育成

子育てのための知識や技能を学ぶ「子育て講座や研修」の実施により、子育てサポーターの育成を図るとともに、更なるサポーターの質の向上を図った。

②子育てサークル等の育成・支援

「ひろば」に関わるサークル同士の交流会等の開催や活動の場を提供することにより、子育てサークルの育成・支援を行った。

○子育てサークルの交流会（2回）

・内容 ふれあい広場の打合せ、意見交換会等

(4) 乳幼児一時預かり事業

子育て中の親が少しでもゆったりと豊かな気持ちで過ごすことができるよう、また急用時をサポートするため広場の開所時間内で乳幼児の一時預かりを行った。

○利用者 18名（計29時間）

(5) イベント託児の実施（基幹）

子育て中の親が子育て講習等や各種イベントに安心して参加できるよう、開催場所に向いて託児を行った。

○依頼件数 34件

○利用者 174名

(6) 子育て支援に関する情報の提供

子育て情報紙「ふれあい広場だより」を月1回発行し、行事の案内・報告を行うとともに社協だより“愛・あい”やホームページ及び市報さがでも子育て支援に関する情報提供を行った。また、子育てサークルによる子育て情報紙発行の支援も行った。

①子育て情報紙「ふれあい広場だより」の発行（月1回）

○主な配布先 市内子育て支援センター、図書館、児童センター等

②ホームページによる情報提供

子育てに関する最新情報を提供するため、定期的にホームページを更新した。

③子育て情報紙「ハッピーママ」の発行支援（月1回）

○主な配布先 市内子育て支援センター、図書館、児童センター、保健センター等

(7) 地域の子育て力を高める取組みの実施

地域の実情に応じ、地域の子育て力を高めることを目的とした取組みについて、積極的に実施するよう努めた。

①「出前交流広場」の開催

地域のボランティアとともに地区公民館等で「異世代交流サロン」等を開催し、交流の場を提供した。

○実施回数 6回（浮盃地区、三重地区、新栄地区（3回）、三瀬地区）

○参加者 延170名（乳幼児76名、保護者74名、ボランティア20名）

②地域「世代間交流事業」への参画

地域世代間交流事業（こどもフェスタ等）への参画を通して、親子と地域のつながりを深め、世代間交流の中で地域ぐるみの子育て支援を推進した。

【出会いの広場】

○開催日 平成22年4月27日（火）

○内 容 佐賀市社協子育て支援センター事業の紹介（単位：人）

乳幼児	保護者	ボランティア等	関係機関	合計
39	35	30	22	126

【こどもフェスタ】

○開催日 平成22年6月5日（土）

○内 容 ボランティア団体等による体験コーナー（単位：人）

子ども	大人	小学生スタッフ	ボランティア	合計
447	173	37	147	804

③父親サークルの設置推進

父親同士のつながりを促進するため、父親参加型のサロン（イチゴ狩り）を開催した。

（単位：人）

父親	母親	子ども	ボランティア	合計
7	18	31	7	63

7 各種福祉団体支援事業

(1) 福祉団体等及び社会福祉事業施設助成事業（2,607,000円）【共募配分（一部）】[P.57, P.71]

佐賀市における福祉活動の振興を図るため、社会福祉事業を目的とする福祉団体等の事業及び運営に要する経費に対して助成金を交付した。

○運営費助成（20団体）

佐賀市遺族会 諸富町遺族会 大和町遺族会 三瀬村遺族会 東与賀町遺族会 佐賀市原爆被害者の会 佐賀市視覚障害者福祉協会 佐賀市肢体不自由児・者父母の会

佐賀市自治会協議会 佐賀市傷痍軍人会 佐賀市身体障害者福祉協会連合会 佐賀市母子寡婦福祉連合会 佐賀市老人クラブ連合会 社会福祉法人 佐賀清光園 富士町銭太鼓愛好会 佐賀市食生活改善推進協議会三瀬支部 川副町そらの会 東与賀町心身障害者手をつなぐ親の会 東与賀町婦人会 久保田町遺族会

○事業助成（6事業）

佐賀心理リハビリテーションキャンプ費（佐賀県若楠ふたばの会） 視覚障害者体力増強費（佐賀市視覚障害者福祉協会） 福祉研修費（佐賀市視覚障害者福祉協会）
老人施設ボランティア活動費（佐賀市視覚障害者福祉協会） 一日ファミリーデー事業助成費（佐賀市母子寡婦福祉連合会） 母子結婚相談事業助成費（佐賀市母子寡婦福祉連合会）

(2) 歳末育児支援事業（558,080円）【歳末配分】〔P.71〕

市内の子育てサロンに「クリスマスプレゼント」として、拡大絵本・エプロンシアターの贈呈を行い、子育て支援の推進を図った。

○子育てサロン 50サロン

(3) 福祉バスの利用（2,567,960円）〔P.47〕 ※本所法人運営事業費で実施

特別団体会員として登録している市内の各種福祉関係団体等が、研修・ボランティア活動等を行う際、円滑な活動ができるよう、マイクロバスによる送迎を行った。

○登録団体数 79団体

○利用件数 158件

8 共同募金配分金事業〔P.71～79〕

(1) 共同募金配分金事業（11,946,000円）

運動期間中に集まった募金を佐賀県共同募金会に全額送金し、佐賀県共同募金会の配分委員会の議決に基づく佐賀市社会福祉協議会への配分金を基に、法人運営費の繰入金とともに共同募金配分事業として事業を行った。（下記の表の頁数は事業報告書の記載頁数です）

	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)	頁数
全市	社協だより“愛・あい”の発行	4,258,568	1,909,158	20
	母子結婚相談事業（母子連）への助成	27,000	27,000	25
	一日ファミリー事業（母子連）への助成	45,000	45,000	25
	児童遊園地整備助成金	668,900	668,900	30
	防犯灯の設置助成	1,790,537	1,790,537	30
	佐賀市移送サービス事業	813,053	813,053	41
本所	校区社会福祉協議会運営費助成	5,700,000	2,850,000	9
	在宅高齢者会食会助成事業	1,787,165	932,872	12
諸富	地域子育て支援センター事業	5,386,000	1,070,980	22
大和	まほろばひろば	60,956	60,196	22
	まほろばサロン	56,478	56,478	22
	初級ボランティア講座	11,680	11,680	6
富士	ふれあいチャレンジ塾	306,122	285,722	16
	地域ふれあい交流会	66,604	66,604	17
	ふれあいるーむ	73,493	73,493	22

三瀬	三瀬ふれあいチャレンジ塾	142,514	139,514	17
	みつせスマイルキッズ	100,886	98,486	22
川副	ひとり暮らし高齢者と園児のふれあい会食会	168,230	152,330	17
	世代間交流事業	198,069	198,069	17
東与賀	ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯の会食交流会	120,505	114,305	17
	佐賀市新発見探訪会	130,360	95,360	16
	子育て支援事業	180,392	128,740	22
久保田	ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯のふれあい会食会	150,573	138,573	17
	世代間交流事業 (ゲートボール・グランドゴルフ)	73,650	73,650	17
	子育て支援事業	43,984	43,984	22
	地域探訪会	151,316	101,316	16
合 計			11,946,000	

(2) 歳末たすけあい配分金事業 (6,281,468円) [P.71]

前年度、運動期間中(12月1日から1ヶ月間)に集まった募金を共同募金会佐賀市支会に設置した配分委員会に諮り、住民ニーズに応じた事業を展開した。(下記の表の頁数は事業報告書の記載頁数です)

	事業名	事業額(円)	配分金充当額(円)	頁数
全市	生活困難者支援事業(年末炊出し)	257,669	257,669	14
	歳末育児支援事業(大型絵本の贈呈)	558,080	556,040	26
本所	在宅高齢者会食会助成事業	839,500	839,500	12
	年末・年始地域福祉交流事業(校区社協)	3,231,000	3,231,000	9
諸富	ふれあい交流会(餅つき及び会食)	189,976	189,976	19
	障がい児サロン事業	19,780	19,780	18
大和	春日小学校PTA「春日っ子ふれあい大会」	261,147		11
	川上小学校PTA「川上っ子ふれあいまつり」	155,003	313,107	11
	松梅児童館祭り「親子餅つき大会」	54,772		11
	川上校区高齢者ふれあい会食会	38,841	38,841	11
富士	餅つき交流訪問事業	120,615	120,615	19
三瀬	世代間交流餅つき会	53,600	53,600	19
	世代間交流しめ縄作り	22,400	22,400	19
川副	世代間交流餅つき会	194,444	194,444	19
	世代間交流しめ縄作り	97,082	97,082	19
東与賀	高齢者世帯会食交流会	118,921	110,121	19
	障がい児クリスマス会	79,388	79,388	18

久保田	世代間交流事業	115,405	107,905	19
	障がい者施設交流事業	50,000	50,000	18
合 計			6,281,468	

Ⅲ. 福祉サービス利用支援部門

1 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）（5,635,565円）〔P.61〕

※決算額のうち、150,000円はP.17「社協だより“愛・あい”の発行」にも含む。

「福祉サービス利用者の利益の保護」を図ることを目的に、認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な人達が安心して自立した地域生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助等を行い支援した。

※相談や支援計画作成は無料。ただし、契約締結後の支援については利用料が必要となる。

①福祉サービスの利用援助サービス

- 福祉サービスに関する情報提供、相談、助言
- 福祉サービスの利用手続援助（申込手続同行・代行、契約締結）
- 利用している福祉サービスに苦情・不満がある場合の苦情解決制度の利用手続支援

②日常的な金銭管理サービス

- 年金及び福祉手当の受領に必要な手続き
- 福祉サービス利用料の支払い代行
- 公共料金・家賃・医療費・日用品等の代金の支払い手続き代行
- 生活費の使い方についての相談受付
- 上記に必要な預貯金の出し入れ、解約などの手続き
- 施設や病院が行う金銭管理に対する見守り

③書類等の預かりサービス

- 定期預金の通帳や年金証書・印鑑など書類等の保管
- 銀行の貸金庫を利用したの保管（別途利用料（実費）が必要）

（1）基幹的社協の受託

生活支援専門員の配置

基幹的社協として生活支援専門員を配置し、佐賀市・多久市・小城市・神崎市及び吉野ヶ里町における相談や契約の手続き等を、各市町社協と連携し行った。

市町社協	契約者数(人)
多久市	3
小城市	9
神崎市	10
吉野ヶ里町	6
合 計	28

(2) 福祉サービス利用援助事業の実施（佐賀市分）

対象者	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
相談・問合せ件数	173	178	263	50	664
新規契約件数	4	6	5	2	17
解約件数	7	1	0	0	8

契約者数

(単位：人)

支所名	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計
本所	19	10	12	4	45
大和	1	4	0	0	5
富士	2	0	0	0	2
三瀬	0	2	0	0	2
諸富	1	0	3	0	4
川副	0	2	3	1	6
東与賀	2	0	1	0	3
久保田	1	1	0	0	2
合計	26	19	19	5	69

2 生活福祉資金貸付事業（5,450,300円）[P.120]

金融機関や公的貸付制度からの借入れが困難な所得の少ない世帯、障がい者や介護を要する高齢者の居る世帯に対し、必要な資金の貸付けと相談援助を行った。

○対象世帯

低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯、失業中の世帯等

○資金種類（5種類）

生活福祉資金（総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金）、臨時特例つなぎ資金

件数	生活福祉資金	臨時特例つなぎ資金	合計
相談等件数	435	30	465
貸付件数	8	5	13

3 福祉資金（小口）貸付事業（5,700,764円）[P.121]

低所得世帯の自立更生のため、他からの資金貸付が困難かつ緊急の場合に3万円を上限として貸し付けを行った。

件数（件）		金額（円）
相談・問い合わせ	500	/
貸付	203	
償還	324	

※貸付と償還の件数差は、1件の貸付けに対し、最長6回までの償還回数となる場合があるため

4 住民の福祉活動の推進・支援

(1) 小災害罹災世帯に対する見舞（330,000円）[P.57]

災害により罹災者が物的・精神的な援護を必要とする場合、自力更生の向上を図るため見舞金を支

給した。

別途、佐賀県共同募金会、日本赤十字社佐賀県支部の取扱窓口として見舞金等の支給を行った。

	災害件数	罹災世帯数	人数
火災	12	16	31
水害	1	2	3
合計	13	18	34

◎見舞金品支給状況

市社協	共同募金	日本赤十字				
見舞金	見舞金	見舞金	毛布	日用品 セット	バスタオル セット	タオル セット
330,000円	190,000円	240,000円	28枚	22組	13組	12組

(2) 児童遊園地整備助成金 (668,900円) 【共募配分】 [P.71]

市内地区自治会が児童福祉対策として、児童遊園地の新設、増設及び補修を行った場合、市行政部局と共催して助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
西与賀	2	122,000	久保泉	1	31,500
巨勢	2	39,200	西川副	1	33,000
兵庫	1	7,700	中川副	1	40,500
北川副	1	60,000	東与賀	1	31,500
本庄	2	74,900	久保田	2	118,900
鍋島	2	109,700	合計	16	668,900

(3) 防犯灯の設置助成 (1,790,537円) 【共募配分】 [P.71]

市内地区自治会等が地域住民の安全と犯罪の防止、青少年の非行防止のため、自主的に防犯灯の設置・補修・切り替え及び蛍光管等の取り替え等を行った場合、市行政部局と共催して助成金を交付した。

校区	設置数(件)	助成額(円)	校区	設置数(件)	助成額(円)
勸興	14	42,350	蓮池	9	3,750
循誘	12	45,671	新栄	21	172,100
日新	38	65,500	若楠	21	58,750
赤松	21	52,600	開成	22	50,650
神野	33	113,312	諸富	32	82,825
西与賀	27	24,300	春日	18	120,525
嘉瀬	17	24,037	春日北	10	130,050
巨勢	24	30,800	川上	14	97,950
兵庫	28	52,680	松梅	6	23,150
高木瀬	37	85,650	富士	4	67,900
北川副	29	43,250	三瀬	4	12,600
本庄	44	97,150	南川副	3	9,000
鍋島	21	42,200	東与賀	34	76,450
金立	21	43,125	久保田	23	33,300
久保泉	28	88,912	合計	615	1,790,537

(4) 備品の貸し出し (3,150円) [P.70]

突発的な需要や各種団体等が研修などを行う際、車椅子・研修機器等の備品を貸し出した。

また、高齢者や障がい者等が在宅生活の継続を支援するため、ベッド、エアマット、電動ベッド、電動四輪車等を貸し出し、住民福祉の向上に努めた。

(単位：台)

		本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	計
車椅子	保有数	21	4	17	8	2	10	7	9	78
	延利用数	256	4	26	8	2	13	17	14	340
4点杖	保有数	1								1
	延利用数	0								0
電動ベッ ド	保有数								2	2
	延利用数								2	2
手動ベッ ド	保有数				3					3
	延利用数				0					0
エアマッ ト	保有数				2				1	3
	延利用数				0				0	0
電動四輪 車	保有数								6	6
	延利用数								3	3
液晶プロ ジェクター	保有数	1			1				1	3
	延利用数	15			23				2	40
スクリー ン	保有数	1			1				1	3
	延利用数	11			23				1	3
マイク 式	保有数	1	1						1	3
	延利用数	2	1						1	4
防災釜	保有数							1		1
	延利用数							2		1
もちつき 道具一式	保有数		2							2
	延利用数		4							4

(5) 県内高齢者フリー定期券（昭和自動車シルバーパス）販売（受託事業）（P.51, P.52）

※富士支所・三瀬支所法人運営事業費で実施 富士 三瀬

社会福祉協議会で販売することにより、住民の利便性を図り、高齢者の外出支援及び社会参加の促進を図った。

○対象者 75歳以上の高齢者（昭和10年3月31日以前に生まれた方）

○販売数 158冊

5 祭壇貸付事業〈特別会計〉（165,191円）[P.123] 久保田

葬儀の費用負担を軽減するため、自宅等で葬儀を行う場合に指定委託葬祭業者が祭壇の飾りつけ及び撤去を行い、地域住民の福祉の増進を図った。

	A型	B型	C型	計
利用料(円)	31,500	28,350	26,250	
貸付件数(件)	0	2	1	3

6 福祉サービス第三者評価事業〈特別会計〉（ ー 円） [P. 122]

個々の事業者（福祉施設）が、事業運営における具体的な問題点や課題などを把握し、サービスの「質」の向上に結びつけるとともに評価結果などが利用者にとって適切なサービス選択に役立つ情報源となるように事業所登録を行っている。

- 評価対象施設 障がい児（者）施設、児童養護施設、母子生活支援施設、乳児院、保育所、児童館、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム、婦人保護施設、救護施設など
- 評価調査者 9名
- 評価実績 なし

7 総合相談事業

（1）無料法律相談事業（234,000円） [P. 57]

生活上のトラブルなど法律に関する問題解決の手助けとなるよう、市民からの相談に無料で応じた。

相談員	実施回数	相談者
佐賀県弁護士会	9回	25名

（2）暮らしのトラブル無料法律相談 富士

多重債務や自己破産等生活上に発生する様々な悩みやトラブルで困窮している者に対し、問題解決を図るため、司法書士の資格を持つボランティアの協力により、市民からの相談に無料で応じた。

- 実施回数 毎月第3火曜日 午後3時～午後5時
- 相談員 司法書士
- 来談者 3名

8 健康・生きがい促進運営事業

（1）ほほえみ館生きがい講座（1,544,644円） [P. 64]（22年度まで）

市内居住の60才以上の高齢者を対象に次の講座を開講し、趣味の仲間の輪を広げ、健康づくりを促進し、老後の生活に潤いを与えた。

講座名	開講日	定員(人)	受講者数(延・人)
編物教室	第2、4月曜日 月2回（午後）	20	383
絵手紙教室	第2、4火曜日 月2回（午後）	20	420
生花教室	第1、3水曜日 月2回（午後）	20	318
書道教室	第1、3、4木曜日 月3回（午前）	20	459
童謡唱歌教室	第2、4木曜日 月2回（午前）	20	544
合計			2,124

（2）流水浴機器等管理運営事業（1,700,000円） [P. 92] 三瀬

市民の健康増進と、生涯を健康で過ごせる体づくりや生活習慣病の予防を目的に、温泉水を利用した三種類（スイムライフ、アクアビューティー、アクアファイブ）の流水浴機器を利用し実施した。

- 受付時間 月曜日、水曜日、金曜日 午前10時～午後3時
火曜日、木曜日 午後1時～午後4時
- 利用者 延1,753人

9 三瀬地域巡回バス運営事業（3,120,000円） [P. 93] 三瀬

住民の交通手段としての送迎と児童の下校時の送りのため、マイクロバスを一日5便運行し、住民

福祉サービスの利用促進を図るとともに、児童の安全確保に寄与した。

稼働日数	延利用人数	内訳	
		一般	児童
243日	5,439人	2,692人	2,747人

佐賀市三瀬支所庁舎を基点に地区内を東西に分け運行(1号車[市直轄]:西部、2号車[委託]:東部)

10 放課後児童クラブ事業 (9,184,200円)

地区内の小学校に通学し、保護者が労働等で昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後及び長期休暇期間中に遊びと生活の場を提供し、児童を犯罪から守るとともに健全育成を図った。

(1) 松梅児童クラブ (1,095,500円) [P.90] 大和

- 会場 松梅児童館
- 対象者 保護者が仕事などのために昼間いないことが常態となっている家庭の小学1年生～6年生までの児童
- 利用日時 月曜日～金曜日 放課後～午後6時30分
長期休暇(夏・冬・春休み)・土曜日 午前8時30分～午後5時
- 開設日数 293日
- 利用児童数 延1,200人

(2) 南川副児童、西川副児童、中川副児童及び大詫間児童クラブ (8,088,700円) [P.94] 川副

- 対象者 保護者が仕事などのために昼間いないことが常態となっている家庭の小学1年生～3年生までの児童
- 利用日時 月曜日～金曜日 放課後～午後6時30分
長期休暇(夏・冬・春休み)・土曜日 午前8時～午後6時30分

通常時

区分	南川副	西川副	中川副	大詫間	合計
開設日数(日)	243	244	199	0	
延人数(人)	3,204	3,500	694	0	7,398

長期休暇期間(4クラブ合同)

区分	夏季休業	冬季休業	春季休業	学年末	合計
開設日数(日)	32	6	3	5	
延人数(人)	1,193	150	65	107	1,515

11 老人福祉センター等運営事業 (69,232,053円)

高齢者が地域で安心して、心豊かに楽しく過ごせる場所を提供するため、市内5箇所(平松、巨勢、金立、開成、大和)の老人福祉センター等を運営した。各センターでは高齢者大学、クラブ活動や季節の行事などを行い、生きがいの充足、また積極的な「仲間づくり」を進めている、また健康相談を実施し、健康で明るい生活を営んでもらうための事業の推進に努めた。

(1) 佐賀市平松老人福祉センター (18,873,212円) [P.98]

①平松老人福祉センター事業

- 入浴日 月・水・木・金曜日 午前11時～午後3時
- クラブ活動 民謡、大正琴、書道、囲碁、生花、カラオケ、民舞、将棋
水墨画、フォークダンス、吟詠、謡曲、陶芸、俳句、三味線
手あみ、自彊術(じきょうじゅつ)

- 年間行事 健康相談（保健師） 第1木曜日、奇数月第3月曜日
午後1時30分～午後3時
- 囲碁大会 第2土曜日
将棋大会 奇数月の第4土曜日
文化祭 敬老月間に伴う作品展示及び、発表会

年間利用者数	市内（人）	市外（人）	合計（人）	1日平均（人）
男	25,710	203	25,913	
女	15,358	150	15,508	
合計	41,068	353	41,421	141

②佐賀市平松清風大学（開講日：8月を除く毎週火曜日）

高齢者が長寿社会の中で積極的に学習に取り組み、より一層生活を充実し、より高い生きがいを求め、地域社会の活動に順応できる人材を育成するために開設した。

- 学生数 130名（2年制）
- 講義 一般教養、郷土史、園芸、健康づくり等
1年生 年37回、2年生 年36回
- 入学式 平成22年4月13日（火）
- 学生活動 文集ひらまつ発行、運動会、研修旅行、グループ活動、自主企画授業
- クラブ活動 グラウンドゴルフ、歩こう会、園芸、書道、絵てがみ、パソコン
- 卒業式 平成23年3月8日（火）

(2) 佐賀市巨勢老人福祉センター（15,499,970円）〔P.100〕

①巨勢老人福祉センター事業

- 入浴日 月・火・木・金曜日 午前11時～午後3時
- クラブ活動 大正琴、舞踊、書道、フラダンス、囲碁、生花、カラオケ、フォークダンス、詩吟、謡曲、童謡唱歌、写真、編物
- 市事業協力 脳いきいき健康塾
- 年間行事 健康相談（保健師）
第1火曜日、偶数月第1水曜日 午前10時～午前11時30分
第4金曜日 午後1時～午後2時30分
囲碁大会 毎月第3水曜日

年間利用者数	市内（人）	市外（人）	合計（人）	1日平均（人）
男	14,435	507	14,942	
女	14,680	323	15,003	
合計	29,115	830	29,945	101

②巨勢シルバーカレッジ（開講日：毎月第1・第3木曜日）

高齢者が福祉社会をより深く認識し、快適な暮らしを高める能力を身につけるとともに地域社会に貢献できるボランティアを志すために開設した。

- 学生数 50名（1年制）
- 入学式 平成22年4月15日（木）
- 講義 一般教養、郷土史、健康づくり等 年19回
- 修了式 平成23年3月17日（木）

(3) 佐賀市金立いこいの家 (11,782,260円) [P.101]

①金立いこいの家事業

- 入浴日 月・火・木・金曜日 午前11時～午後3時
- クラブ活動 民謡、囲碁、フォークダンス、グラウンドゴルフ、大正琴、書道
生花、歌謡曲、押花、パッチワーク、気功、園芸
- 市事業協力 脳いきいき健康塾
- 年間行事 健康相談(保健師)
第2火曜日 午前10時～午後3時30分
偶数月第3火曜日 午前10時～午前11時30分
囲碁大会 毎月第2水曜日

年間利用者数	市内(人)	市外(人)	合計(人)	1日平均(人)
男	8,027	90	8,117	
女	8,745	154	8,899	
合計	16,772	244	17,016	5.8

②金立いこいの家文化講座(開講日:第3金曜日)

本格的な高齢化社会を迎え、健康で明るい人生を送るために、「未知との出会い」「人とのふれあい」「学ぶよろこび」を再発見することを目的に開設した。

- 学生数 45名(1年制)
- 入学式 平成22年4月16日(金)
- 講義 一般教養、健康づくり、園芸、料理、郷土史等 年12回
- 修了式 平成23年3月18日(金)

(4) 佐賀市開成老人福祉センター (11,323,042円) [P.103]

○開成老人福祉センター事業

- 入浴日 月～金曜日 午前11時30分～午後3時
- クラブ活動 囲碁、将棋
- 年間行事 健康相談(保健師) 第1水曜日 午後1時30分～午後3時30分
囲碁大会 毎月第2月曜日

年間利用者数	市内(人)	市外(人)	合計(人)	1日平均(人)
男	12,701	152	12,853	
女	3,371	0	3,371	
合計	16,072	152	16,224	5.5

(5) 佐賀市大和老人福祉センター (11,753,569円) [P.106] 大和

①大和老人福祉センター事業

- 入浴 月～金曜日 午前11時～午後3時
- 年間行事 健康相談(保健師)
第2月曜日 午後1時30分～午後3時30分

年間利用者数	市内(人)	市外(人)	合計(人)	1日平均(人)
男	4,336	3	4,339	
女	4,072	0	4,072	
合計	8,408	3	8,411	3.5

②温泉バスの運行

公共交通機関等での移動が困難な高齢者が老人福祉センターを円滑に利用できるよう、区内全域を巡回する温泉バスを運行し、高齢者の生きがいづくりや健康増進を支援した。

- 運行日時 月～金曜日
迎：午前10時～ 送：午後2時30分～
- 利用料 無料

1 2 佐賀市立母子生活支援施設「高木園」運営事業 (29,667,000円) [P.104]

配偶者のいない女性やこれに準ずる要件にあたる女性及び監護すべき児童を受け入れて保護するとともに、一日も早く自立できるよう生活全般を指導・支援した。

- 職員数 6名 (所長1名、母子指導員3名^{※1}、少年指導員2名)
※1 1名育児休暇中
- 定員 20世帯 (暫定定員12世帯)
- 入所世帯数 17世帯 (44名) ※平成23年3月末現在
- 世帯主平均年齢 36.6歳
- 平均在所期間 (世帯) 14.2ヶ月

1年未満	1年以上	2年以上	3年以上	5年以上	合計
9	5	2	1	0	17

- 年間行事 こどもの日会、七夕会・園内研修、クリスマス会、進級御祝い会、避難訓練 (月1回)、消防訓練 (年2回)、母の会 (月1回)、健康診断 (年2回)、外庭掃除 (月1回以上)、大掃除 (夏季・年末)

1 3 松梅児童館運営事業 (17,137,237円) [P.107] 大和

児童に健全な遊び場を与え、その健康を増進し、情操を豊かにし、遊びを通して体力増強を図るとともに母親クラブ、子ども会など、地域組織活動の育成助長を図る。また、松梅校区に幼稚園・保育園がないため、就学前の保育を行う。併せて、子育て家庭の支援及び子どもの就学までの発達に応じた遊び場の提供、学習を支援・指導を行った。

開館日数 (日)	利用者 (人)					1日平均
	館児	幼児	一般	小学生	総計	
293	4,138	895	1,476	1,824	8,333	28.4

(1) 保育事業 (2～5歳児 22名)

- 利用日 月～土曜日 午前8時30分～午後5時
- 延長保育 月～金曜日 午後6時30分まで
- 実施内容 ※市の保育カリキュラムによる保育
お遊戯、工作、自然散策、体育遊び、お茶教室、季節行事等

(2) 夏祭りの実施

松梅地区と合同でバザーの開催、露店の出店、ビンゴ大会などを行った。

(3) 母親クラブ活動支援

(4) 子育て支援 (子育て相談の実施、どよう館の実施)

1 4 佐賀市産業振興会館管理事業 (1,501,004円) [P.86] 諸富

地場産業の振興と、市民の福祉等の向上を図る産業振興会館の管理及び会議室等の貸し出しを行った。

大集会室		情報交流室		研修室		教養室		アトリウム		合計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
138	9,160	208	3,702	240	3,724	129	2,159	30	326	745	19,071

1.5 佐賀市東与賀保健福祉センター管理事業 東与賀

センター管理、会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行った。

大広間		会議室		ビリヤード室		相談室	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
178	3,903	55	1,653	1	6	21	901
調理室		集団指導室		機能訓練室		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
15	295	58	2,718	27	1,990	355	11,466

1.6 佐賀市久保田総合センター管理事業 (2,750,000円) [P.97] 久保田

文化的サークル活動や健康づくり・生涯学習の拠点施設である老人福祉センター、農村環境改善センター、高齢者交流施設、保健センター（4施設）の会議室等の貸し出しや利用状況の把握等の管理業務を行うとともに、各施設の利用調整を行った。

老人福祉センター		農村環境改善センター		高齢者交流施設		保健センター		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
631	7,431	1,278	27,287	164	2,708	181	13,652	2,254	51,078

関連施設

高齢者小規模作業所		高齢者ふれあいプラザ		計	
件数	人数	件数	人数	件数	人数
51	1,286	45	1,111	96	2,397

IV. 在宅福祉サービス部門

1 寝具洗濯乾燥消毒サービス事業 (395,400円) [P.81]

在宅で生活する高齢者（所得制限有）及び身体障がい者（1級・2級）で、衛生管理が困難な者に対し、掛け布団、毛布及びシーツ等の寝具を丸洗い・消毒・乾燥等のサービスを年2回（9月・2月）無料で実施した。

○第1回（9月） 43名

○第2回（2月） 40名

2 居宅介護支援事業 (14,221,386円)

介護保険法により介護認定を受けた者が、可能な限りその居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、指定居宅介護支援事業所の指定を受け、心身の状況やその置かれている環境等に応じ関係機関と連携し、希望に応じ適切なサービスが多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるようケアプラン作成、要介護認定調査、介護保険サービスの調整等を行った。

(1) 居宅介護支援佐賀事業所 (6,151,571円) [P.109] 本所

○介護支援専門員体制 6名(常勤兼務3名、非常勤専従3名)

○要介護認定調査 33件

○ケアプラン管理者数 (単位:人)

介護度	年間管理数	月平均
要介護(1~5)	524	43.7
要支援(1~2)	20	1.7

(2) 居宅介護支援南部事業所 (8,069,815円) [P.115] 川副

○介護支援専門員体制 3名(常勤専従1名、常勤兼務1名、非常勤専従1名)

○要介護認定調査 66件

○ケアプラン管理者数 (単位:人)

介護度	年間管理数	月平均
要介護(1~5)	889	74.1
要支援(1~2)	50	4.2

3 訪問介護事業 (15,073,626円) [P.116] 川副

介護保険法により介護認定を受けた者に対して、ケアプランに基づいて、「身体介護」「家事援助」等のサービスを提供した。

サービス提供件数 (単位:件)

介護度	サービス提供件数	月平均
要介護(1~5)	3,069	255
要支援(1~2)	1,056	88

サービスの種類と件数 (単位:件)

種別	サービス提供件数	月平均
身体介護	1,647	137
家事援助	2,058	171
複合型	420	35

4 通所介護事業

(1) 通所介護事業開成デイサービスセンター事業

要支援及び要介護認定を受けた高齢者が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・食事・レクリエーション等のサービスを提供し、利用者の心身機能の維持・向上と社会的孤独感の解消及び利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

○利用料金 介護保険の適応相当分(個人負担:1割)、昼食費400円/回

○利用日時 月~金曜日(年末年始を除く。)

午前9時30分~午後4時(6時間以上8時間未満)

①開成デイサービスセンター (35,571,674円) [P.111] 開成

○行事等 花見(彼岸花・コスモス・梅・桜)、初詣(祐徳稲荷神社)、誕生会、敬老会
季節行事(節分・桃の節句等)

○交流会 ボランティア団体、開成小、開成保育園 他

実施日数(日)	延利用者数(人)	1日平均(人)
256	4,339	16.9

②デイサービスセンターさくら事業 (17,431,887円) [P.113] 大和

○行事等 レクリエーション、花見見学、ショッピング、おやつ作り 等

実施日数 (日)	延利用者数 (人)	1日平均 (人)
256	3,281	12.8

(2) 特定高齢者通所型介護予防事業 (28,883,979円) [P.84、P.88、P.96]

高齢者の生活機能低下（特に運動器の機能低下）予防を基本とし、低栄養、口腔機能低下、閉じこもり・認知症・うつ等の理由から要介護状態になる恐れがある人に運動器の機能向上、歯科衛生士による口腔機能向上（3ヶ月に1度）を図り、要介護状態にならないように予防し、生活の活性化を図った。

○対象者 健診（生活機能評価）結果及び民生委員等からの情報提供・相談等により把握した高齢者のうち、地域包括支援センターにおいて特定高齢者（閉じこもり・認知症・うつ等に選定された者（国の基準による）

○利用回数 週1回

○利用料金 700円/回（昼食代含む）

①開成デイサービスセンター (13,122,511円) [P.84] 開成

○利用日時 月～金曜日（祝祭日及び年末年始を除く） 午前10時～午後3時

○実施内容 健康体操、レクリエーション、花見見学、ショッピング 等

○交流会 ボランティア団体、開成小、開成保育園 他

実施日数 (日)	延利用者数 (人)	1日平均 (人)
243	2,882	11.9

②大和デイサービスセンター (6,269,967円) [P.88] 大和

○利用日時 月～金曜日（年末年始を除く） 午前9時30分～午後4時

○実施内容 健康体操、レクリエーション、花見見学、ショッピング、おやつ作り 等

実施日数 (日)	延利用者数 (人)	1日平均 (人)
256	1,087	4.2

③川副デイサービスセンター (9,491,501円) [P.96] 川副

○利用日時 月～金曜日（祝祭日及び年末年始を除く） 午前9時30分～午後4時

○実施内容 健康体操、レクリエーション、花見見学、ショッピング、おやつ作り 等

実施日数 (日)	延利用者数 (人)	1日平均 (人)
190	1,845	9.7

(3) 特定高齢者フォローアップ事業 開成 大和 川副 (事業費については特定高齢者事業に含む。)

特定高齢者通所型介護予防事業を利用し、その目的を達成した者に対して、通所によるフォローアップを行い、自宅でも健康に留意した生活を継続できるように支援した。

○対象者 特定高齢者通所型介護予防事業を利用し、目的を達成したと判断された者

○利用回数 週1回

○利用料金 700円/回（昼食代含む）

○実施内容 レクリエーション、自宅でできる健康体操 等

①開成デイサービスセンター [P.84] 開成

○利用日時 月曜日～金曜日 午前10時～午後3時（祝祭日及び年末年始を除く）

実施日数（日）	延利用者数(人)	1日平均(人)
183	2,121	11.6

②大和デイサービスセンター [P.88] 大和

○利用日時 月曜日～金曜日 午前9時30分～午後4時（年末年始を除く）

実施日数（日）	延利用者数(人)	1日平均(人)
256	797	3.1

③川副デイサービスセンター [P.96] 川副

○利用日時 月曜日～金曜日 午前9時30分～午後4時（祝祭日及び年末年始を除く）

実施日数（日）	延利用者数(人)	1日平均(人)
157	1,791	11.4

(4) 生きがい活動通所支援事業（生きがいデイサービス事業） 開成 大和 川副

身体機能の低下、閉じこもり、うつ等のおそれのある高齢者に対し、通所による各種の事業を行うことによって社会的孤立を解消するとともに、介護状態にならないよう心身の維持向上を図り、健康で生きがいの持てる生活を送れるよう支援体制を整えた。

事業内容は、上記（3）に同じ。

○利用実績 なし

5 富士地区コミュニティバス実験運行 (917,732円) [P.91] 富士

（富士地区高齢者憩いの家事業）

自ら外出手段を持たない高齢者等の交通弱者に対し、外出の機会を提供することにより、閉じこもりの防止及び社会参加の促進を図り、自立した生活環境づくりを支援した。

○対象者 65歳以上の高齢者で、介助なしで行動ができる者

○利用料金 100円/片道、(登録料)500円/年

○運行日時 3回/週（火・水・木曜日）午前10時～午後3時

○事業内容

- ・マイクロバスによる利用者の送迎
- ・地域間交流
- ・温泉入浴サービスの提供

実施日数（日）	延利用者数(人)	1日平均(人)
80	902	11.3

6 生活サポート（在宅障がい者）事業（－円） [P.83]

障害程度区分認定において非該当と認定された障がい者に対し、軽易な日常生活上の援助を行い、自立した生活の支援を行う。

○利用者実績 なし

7 身体障がい者居宅介護支援事業 (438,308円) [P.119] 川副

障害者自立支援法第29条に基づき、在宅で生活を営む身体障がい者に対して、日常生活に必要なサービスを提供し、自立した生活の継続を支援した。

○対象世帯 2世帯

○支援回数 延198回（月平均16回）

8 外出支援事業 (1,906,706 円)

(1) 佐賀市移送サービス事業 (813,053 円) 【共募配分】 [P. 58]

既存の交通機関による移動が困難な在宅の高齢者や身体障がい者(移動制限者)に運転ボランティアの協力を得て、車椅子搬送仕様自動車を利用した移送サービスを行った。

また、24時間テレビから車両の寄贈を受け、さらなる事業の充実を図った。

	利用登録者	運転ボランティア登録者	利用者数 (延)	内 訳 (複数利用あり)		
				医療機関	公共機関	社会参加
本所	19	5	271	267	65	69
大和支所	10	3	30	30	0	0
富士支所	15	10	40	40	0	0
川副支所	1	1	4	4	0	0
合計	45	19	345	341	65	69

(2) ガイドヘルパー事業 (居宅介護 [通院介助]、移動支援) (1,093,653 円) [P. 118]

重度の視覚障がい者が、通院や社会参加のために外出を行う場合に、付き添い介助するガイドヘルパーを派遣した。

○登録ヘルパー 8人

居宅介護 (障害者自立支援法による通院介助)

利用者数	派遣回数	派遣時間
6	246	381.5

移動支援 (佐賀市移動支援事業)

利用者数	派遣回数	派遣時間
9	167	300

V. その他の事業

1 共同募金・歳末たすけあい募金運動への協力（佐賀県共同募金会佐賀市支会）

日本で唯一法律に基づいて行われる募金活動として、公的な福祉サービスでは支えられない分野の支援を行うため、佐賀県共同募金会佐賀市支会として募金活動を展開した。

（1）赤い羽根共同募金

「じぶんの町を良くするしくみ」をメインテーマに、10月1日から12月31日までの3ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。
(単位：円)

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
戸別募金	12,521,986	1,011,650	2,010,400	436,100	149,450	1,470,350	792,400	687,400	19,079,736
街頭募金	170,833		46,*313		11,634	30,560			259,340
法人募金	1,885,660	847,000	181,000	544,127	94,600	606,000	241,328	293,000	4,692,715
学校募金	201,239	24,432	43,576	25,487		20,944	8,923	9,827	334,428
職域（資材）	3,060,500	513,500	433,000	267,000	100,000	168,000	203,500	304,500	5,050,000
職域・その他	226,860	23,612	7,237	44,432	48,819	7,456	42,299	12,245	412,960
合計	18,067,078	2,420,194	2,721,526	1,317,146	404,503	2,303,310	1,288,450	1,306,972	29,829,179

（2）歳末たすけあい募金

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、12月1日から12月31日までの1ヶ月間、各種団体などの協力を得て実施した。

(単位：円)

本支所名 募金種別	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
戸別募金	4,887,524	293,200	574,400	124,600	42,700	423,900	226,500	197,000	6,769,824
その他	182,110	28,882	11,803	700	2,746	2,675	606	37,434	266,956
合計	5,069,634	322,082	586,203	125,300	45,446	426,575	227,106	234,434	7,036,780

（3）災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は佐賀県共同募金会を通じて被災地へ送金した。

◎宮崎県口蹄疫被害（5月） 100,694円

- ◎奄美地方大雨災害 (10月) 44,969円
- ◎東日本大震災 (3月) 2,954,535円 (3月31日現在)

2 日本赤十字社事業の推進 (日本赤十字社佐賀県支部佐賀市地区)

国際救護活動や災害救護活動等の人道的使命に基づき、国内外で事業を実施している日本赤十字社の佐賀市地区として、赤十字事業の普及と事業推進に必要な資金を確保するため社員の確保に努めた。 (単位：円)

	本所	諸富	大和	富士	三瀬	川副	東与賀	久保田	合計
社費・寄付金	13,776,928	1,402,000	2,586,650	623,000	213,500	2,119,400	1,142,000	979,000	22,842,478

(1) 各種講習会

佐賀県支部が開催する各種講習会の開催を積極的に推進するとともに、市内で行われる蘇生法などの講習に講師又は指導員の派遣調整を行った。

① 1,000人赤十字救急法実践講習会

世界赤十字デー(5月8日)の全国統一キャンペーン事業として、県内1,000人赤十字救急法実践講習会を開催し、赤十字事業に対する理解度の向上に努めた。

- 開催日 平成22年5月10日
- 場 所 メートプラザ佐賀
- 参加者 93人

② 講習への講師(指導員)派遣

救急法：3ヶ所、防災講習：2ヶ所、幼児安全法：3ヶ所

(2) 災害義援金の募集・受付

各地で発生した災害などに対し義援金の募集及び受付を行い、集まった義援金は日本赤十字社佐賀県支部を通じて被災地へ送金した。

- ◎中国青海省地震 (4月) 1,782円
- ◎奄美地方大雨災害 (10月) 1,444円
- ◎ニュージーランド地震 (2月) 30,423円
- ◎東日本大震災 (3月) 12,113,920円 (3月31日現在)